

## ～ 自分の命は自分で守る！ ～

先日の16日(火)、加古川市防災安全部防災対策課の職員の方々を講師にお招きし、5年生の防災学習と、火災を想定した全校避難訓練を行いました。

避難訓練では、職員の方から「お(おさない)」「は(はしらない)」「し(しゃべらない)」「も(もどらない)」の約束を守り、素早く行動できたことを褒めていただきました。一方で、「ハンカチ等で鼻や口を覆うこと」や「低い姿勢で避難すること」ができていた児童が少なくなかったため、これらが今後の課題であるという大切な指摘もいただきました。

講師の先生方からのお話、そして避難訓練を通じて、最も強調されていたのは「自助(自分の命は自分で守る)」ということです。そのためには、普段から「自分で考える」習慣をつけることが欠かせません。「先生に言われたから何となく動く」だけでは、いざという時に自分で判断して命を守る行動がとれないからです。これは非常時だけでなく、学校や家庭での普段の生活から意識してほしい大切な力です。

5年生の防災学習では、地震のメカニズムや、避難所設営で使われる「簡易ベッド」「間仕切り・畳」「簡易トイレ」、非常食の「アルファ化米」「乾パン」などの備蓄品について、実物を見ながら詳しく教えていただきました。

災害は、時と場所を選びません。発生確率が限りなく0%に近くても、油断してはいけないということです。過去の大震災が証明しているように、発生確率がどれほど低くても、たった1回の大地震がすべてを変えてしまうことがあります。「まさか」と思わず、常に備えを怠らないことが大切です。

今回は、訓練だとみんな分かっていた。だから、実際には火も煙も見えないし、動揺したりパニックになったりすることはありませんでした。実際の火事を目の前にしたら、どうでしょう。想像すらできません。訓練ではできても、本番の災害時にできないかもしれません。でも、それでは意味がありません。「訓練のための訓練」ではなく、いつ起きるか分からない災害から「自分の命を自分で守る」ための本気の訓練にしていきたいと思います。それは、私たち教職員も含めた西神吉っ子一人ひとりの「心がけ次第」です。

この日は、ローリングストックする際に出た乾パンを全校生に配布しています。ご家庭で、一度口にしてみてくださいと思います。そして、ぜひ、今回の訓練や我が家の防災について、話題にしてみてください。

加古川市防災対策課のみなさま、お忙しい中、ありがとうございました。災害を我がこととして捉え、常に高い意識を持って過ごせるよう、学校でも引き続き指導していきたいと思っています。

### 西神吉っ子の一コマ

ピッカリ！  
ピッカリ！



5年生は午後から火熾し体験もし、ポップコーンを作って食べました。  
火は恐ろしいものですが、正しく使えば、生活に欠かせないものになります…。